

令和3年度 指導計画・評価計画 【2年生数学科】

教科目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

第2学年の目標

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

令和3年度 指導計画・評価計画表 【2年生数学科】

4月	1章	節	項	学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
4月	式の計算	1 式の計算	1 式の加法, 減法(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の式に関連した用語の意味 ・同類項の意味と同類項をまとめること ・多項式の加法, 減法 	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式や多項式, 次数や同類項の意味を理解している。 ・簡単な多項式の加法と減法の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の加法, 減法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の加法, 減法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり, それらの計算をしたりしようとしている。 	定期考査 提出物 レポート等
			2 いろいろな多項式の計算(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式と数の乗法, 除法 ・(数×多項式) の加減 ・式を簡単にしてから代入して, 式の値を求めること 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式と数の乗法, 除法の計算をすることができる。 ・文字が2つ以上ある式について, 式の値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式と数の乗法, 除法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式と数の乗法, 除法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり, それらの計算をしたりしようとしている。 	
			3 単項式の乗法, 除法(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式どうしの乗法, 除法 ・乗除の混じった単項式の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字が2つ以上ある式について, 式の値を求める方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字が2つ以上ある式について, 式の値を求める方法を考えたり, それらの計算をしたりしようとしている。 	
5月	文字式の	2	1 文字式の利用(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの場面から数の性質を予想し, 式の計算を利用して, その予想が成り立つ理由を説明すること ☆条件をかえて予想を立て, その予想が正しいかどうかを, 文字 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量及び数量の関係を帰納や類推によって捉え, それを文字式を使って一般的に説明することの必要性和意味を理解している。 ・目的に応じて等式を変形するこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式の乗法, 除法の計算の方法を, 1年で学習した文字式の計算と関連づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字が2つ以上ある式について, 式の値を求める方法を考えたり, それらの計算をしたりしようとしている。 ・単項式の乗法・除法の計算の 	

6 月	利用		式を利用して説明する。 ・目的に応じて簡単な等式を変形すること	とができる。	て考察し表現することができる。 ・数の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式を使って説明することができる。	方法を、1年で学習した文字式の計算と関連づけて考えたり、それらの計算をしたりしようとしている。 ・文字式を使って一般的に説明することの必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。		
		3 章末	章末問題、レポート(2)	学びをたしかめよう 学びを身につけよう 学んだことをレポートにまとめる				
		2 章	節	項	学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	連立 方 程 式	1	1 連立方程式とその解(2)	・二元一次方程式とその解の意味 ・連立方程式とその解の意味 ・連立方程式の解のたしかめ	・二元一次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立方程式の必要性和意味、その解の意味を理解している。	・2つの二元一次方程式を成り立たせる文字の値の組を求める方法を考察し表現することができる。	・連立方程式の必要性和意味を考えようとしている。	定期 考 査 提 出 物 レ ポ ー ト 等
		2	2 連立方程式の解き方(5)	・文字の消去の意味 ・加減法による連立方程式の解き方 ・代入法による連立方程式の解き方 ☆係数が整数でない場合などの連立方程式の解き方や解く際の工夫を考える。 ・いろいろな連立方程式の解き方	・2つの二元一次方程式の中の文字に数を代入して、その数が連立方程式の解であるかどうかを確かめることができる。 ・連立方程式を加減法を用いて解くことができる。 ・連立方程式を代入法を用いて解くことができる。	・一元一次方程式と関連づけて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 ・求めた解や解決の方法をふり返って、それらが適切であるかどうかを考察し表現することができる。	・加減法や代入法による連立方程式の解き方を考えようとしている。 ・連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。	
		2	1 連立方程式の利用(4)	・身のまわりの場面から問題を設定し、連立方程式を利用して問題を解決すること ・連立方程式の解が、問題にあっているかどうかを吟味すること	・係数が整数でない場合などの連立方程式を解くことができる。 ・ $A=B=C$ の形の方程式を解くことができる。 ・連立方程式を活用して問題を解			

7月	3章	程式の利用	・連立方程式を利用しているいろいろな問題を解くこと	決する方法について理解している。 ・事象の中の数量やその関係に着目して連立方程式をつくり、その連立方程式を解くことができる。				
		3章末	章末問題、レポート(2)	学びをたしかめよう 学びを身につけよう 学んだことをレポートにまとめる				
	3章	節	項	学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
	一次関数	1	1 一次関数(2)	・一次関数の意味 ・事象の中に一次関数としてとらえられるものがあることを知ること	・一次関数の意味を理解している。 ・一次関数の関係を式に表すことができる。 ・一次関数の関係を表す式に数を代入し、対応する値を求めることができる。 ・変化の割合の意味を理解している。	・具体的な事象の中にある2つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、一次関数として捉えられる2つの数量を見いだすことができる。 ・一次関数の変化の割合の特徴を、反比例と比較して見いだすことができる。 ・一次関数のグラフの特徴を、表や式、変化の割合と関連づけて考察し表現することができる。 ・一次関数について、 x の変域に制限があるときの y の変域を求める方法を、グラフと関連づけて考察し表現することができる。	・具体的な事象の中から一次関数として捉えられる2つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。 ・一次関数の変化の割合の特徴を、反比例と比較して見いだそうとしている。 ・一次関数のグラフの特徴を、表や式、変化の割合と関連づけて考えようとしている。 ・一次関数について、 x の変域に制限があるときの y の変域を求める方法を、グラフと関連づけて考えようとしている。 ・一次関数の式を与えられた条件から求める方法を、表、式、グラフを相互に関連づけるなどして考えようとしている。 ・二元一次方程式の解と一次	定期考査 提出物 レポート等
		2	一次関数の値の変化(2)	・一次関数の値の変化 ・変化の割合の意味 ・一次関数以外の関数の変化の割合	・変化の割合の意味を理解している。	・一次関数の変化の割合の特徴を、表や式、変化の割合と関連づけて考察し表現することができる。	・一次関数について、 x の変域に制限があるときの y の変域を求める方法を、グラフと関連づけて考えようとしている。	
		3	一次関数のグラフ(4)	・一次関数 $y=ax+b$ のグラフの意味 ・比例のグラフと一次関数のグラフとの関係と切片の意味 ・傾きの意味と変化の割合との関係 ・一次関数のグラフを、傾きと切片をもとにしてかくこと ・ x の変域に制限があるときの y の変域を求めること	・一次関数のグラフの特徴を理解している。 ・一次関数のグラフの切片や傾きの意味を理解している。	・一次関数の特徴に着目して、与えられた条件から式を求める方法を考察し表現することができる。	・一次関数の式を与えられた条件から求める方法を、表、式、グラフを相互に関連づけるなどして考えようとしている。	
		4	一次関数の式を求めること(3)	・一次関数のグラフから、傾きと切片を読み取り、式を求めること ・傾きとグラフ上の1点の座標から式を求めること ・グラフ上の2点の座標から式を求めること	・一次関数の関係をグラフに表すことができる。 ・一次関数について、 x の変域に制限があるときの y の変域を求めることができる。			

8 月 9 月	一次関数と方程式		☆一次関数の表、式、グラフの相互の関連をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の式を、与えられた条件から求めることができる。 $b \neq 0$ のとき、二元一次方程式 $ax + by + c = 0$ は、x と y の間の関数関係を表す式とみることができることを理解している。 二元一次方程式の解を座標とみて、座標平面上に表すことができる。 $a = 0$ または $b = 0$ のときの二元一次方程式 $ax + by + c = 0$ のグラフの特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二元一次方程式を関数関係を表す式とみること、二元一次方程式の解と一次関数のグラフの関係を考察し表現することができる。 連立二元一次方程式の解の意味について、一次関数と二元一次方程式のグラフとの関係を考察し表現することができる。 具体的な事象の中から取り出した2つの数量の関係を、理想化したり単純化したりして一次関数とみなし、変化や対応の様子を調べたり、予測したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数のグラフの関係について考えようとしている。 連立二元一次方程式の解の意味について、一次関数と二元一次方程式のグラフとの関係から考えようとしている。 一次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 一次関数を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 		
		2	1 方程式とグラフ(2)	<ul style="list-style-type: none"> 方程式 $ax + by = c$ のグラフ 方程式のグラフを、2点を求めてかくこと $y = k$ のグラフ、$x = h$ のグラフ 	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式の解は座標平面上の2直線の交点の座標であることを理解している。 座標平面上の2直線の交点の座標を連立二元一次方程式を解いて求めたり、連立方程式の解を2直線の交点の座標から求めたりすることができる。 一次関数を活用して問題を解決する方法について理解している。 一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表し、問題进行处理することができる。 			
			2 連立方程式とグラフ(1)	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式の解とそのグラフの交点の座標との関係 2直線の交点の座標を、連立方程式を用いて求めること 				
		3	1 一次関数の利用(4)	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの場面から問題を設定し、一次関数を利用して問題を解決すること 一次関数のグラフから数量の関係を読み取ること 動点のようすを一次関数でとらえること 				
4	章末問題、レポート(2)	<ul style="list-style-type: none"> 学びをたしかめよう 学びを身につけよう 学んだことをレポートにまとめる 						
4	節	項	学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法	
図形の	平行	1	1 角と平行線(3)	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角の性質 平行線と同位角の関係 平行線と錯角の関係 	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角、同位角、錯角の意味を理解している。 平行線の性質、平行線になるための条件を理解している。 対頂角や平行線の性質を用い 	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角や平行線の性質を見だし、根拠を明らかにして説明することができる。 「三角形の内角の和は 180° である」ことなど 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線や角の性質を帰納的に確かめて演繹的に導いたり、それを用いて角の大きさを求めたり、直線の位置関係を表したりしようとし 	定期考査 提出物 レポート等
			2 多角形の角(4)	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の内角の和 三角形の内角と外角の関係 				

10 月	調べ方	合同		<ul style="list-style-type: none"> ・角の分類と角による三角形の分類 ・多角形の内角の和 ・多角形の外角の和 ☆へこみのある図形の角の求め方について、いろいろな方法を考える。	て、角の大きさを求めたり、直線の位置関係などを表したりすることができる。	を、平行線の性質などをもとにして確かめ説明することができる。	ている。
			3 三角形の合同(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・合同な図形の性質 ・三角形の合同条件 	<ul style="list-style-type: none"> ・「三角形の内角の和は 180° である」ことなどを、帰納的な方法で示すことでは、その性質が常に成り立つことを示しているとはいえないことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形の内角の和や外角の和などを予想し、それが正しいことを考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形の内角の和や外角の和についての性質を見いだそうとしている。
		2 証明	1 証明とそのしくみ(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・証明の必要性 ・仮定と結論の意味 ・証明の意味とそのしくみ ・証明の根拠となることから 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の内角・外角の意味及びその性質について理解している。 ・鋭角、鈍角、鋭角三角形、鈍角三角形の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の決定条件をもとにして、三角形の合同条件を見いだすことができる。 ・三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であるかどうかを考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であるかどうかを考察し表現することができる。
	2 証明の進め方(2)		<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件を使って簡単な図形の性質を証明すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形の内角の和と外角の和の意味を理解している。 ・多角形の内角の和や外角の和などを求めることができる。 ・合同な図形の性質や、三角形の合同条件の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質などを証明することの必要性と意味を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質などを証明することの必要性と意味を考察しようとしている。 	
	11 月	章末	3 章末問題、レポート(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・学びをたしかめよう ・学びを身につけよう ・学んだことをレポートにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同な2つの三角形の辺や角の関係などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 ・命題の仮定と結論の意味を理解している。 ・命題の仮定や結論などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 ・図形の性質などを証明することの必要性と意味を理解している。 ・証明の進め方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質などを証明するときのすじ道を考えることができる。 ・図形の性質を証明するために、見通しを立てて証明をかくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質を証明するために、見通しを立てて証明をかくようとしている。

	5章	節	項	学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
12月 1月	図形の性質と証明	1	1 二等辺三角形(5)	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の基本性質とその証明 定義, 定理の意味 2角が等しい三角形は二等辺三角形であること 逆の意味とその真偽 あることがらが正しくないことを, 反例をあげて示すこと 正三角形とその性質 	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質を理解している。 定義, 定理の意味を理解している。 二等辺三角形の性質を記号を用いて表したり, その意味を読み取ったりすることができる。 逆, 反例の意味を理解している。 直角三角形の合同条件の必要性和意味を理解している。 平行四辺形の性質を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の合同条件などをもとにして, 二等辺三角形の性質を論理的に確かめ証明することができる。 命題が正しくないことを証明するために, 反例をあげることができる。 三角形の合同条件をもとにして, 直角三角形の合同条件を見いだすことができる。 直角三角形の合同条件をもとにして, 図形の性質を証明することができる。 三角形の合同条件などをもとにして, 平行四辺形の性質を論理的に確かめ証明することができる。 三角形の合同条件などをもとにして, 平行四辺形になるための条件を論理的に確かめ証明することができる。 平行四辺形になるための条件などをもとにして, 図形の性質を証明することができる。 長方形, ひし形, 正方形, 平行四辺形の関係を論理的に考察し整理することができる。 平行線と面積の関係に着目して, 1つの図形を面積の等しい別の図形に変形す 	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質を見いだしたり, 証明したりしようとしている。 直角三角形の合同条件を見いだしたり, それを用いて図形の性質を証明したりしようとしている。 平行四辺形の性質について調べ, 証明しようとしている。 平行四辺形になるための条件について調べ, 証明しようとしている。 長方形, ひし形, 正方形, 平行四辺形の関係などについて考えようとしている。 平行線と面積の関係に着目して, 1つの図形を面積の等しい別の図形に変形する方法を考えようとしている。 四角形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 四角形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 	定期考査 提出物 レポート等
			2 直角三角形の合同(2)	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形の合同条件 直角三角形の合同条件を使って図形の性質を証明すること 	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質を記号を用いて表したり, その意味を読み取ったりすることができる。 平行四辺形になるための条件を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の関係を理解している。 平行線と面積の関係をもとに, 1つの図形を面積の等しい別の図形に変形することができる。 日常生活で四角形の性質を利用している場面を理解している。 		
		2	四角形	1 平行四辺形の性質(2)	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の定義と性質 平行四辺形の性質の証明 	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質を記号を用いて表したり, その意味を読み取ったりすることができる。 平行四辺形になるための条件を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の関係を理解している。 	
				2 平行四辺形になるための条件(3)	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形になるための条件とその証明 	<ul style="list-style-type: none"> 長方形, ひし形, 正方形の定義 長方形, ひし形, 正方形と平行四辺形の関係 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の関係を理解している。 	
			3 いろいろな四角形(2)	<ul style="list-style-type: none"> 長方形, ひし形, 正方形の定義 長方形, ひし形, 正方形と平行四辺形の関係 	<ul style="list-style-type: none"> 長方形, ひし形, 正方形, 平行四辺形の関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 長方形, ひし形, 正方形, 平行四辺形の関係を論理的に考察し整理することができる。 		
			4 平行線と面積(2)	<ul style="list-style-type: none"> 底辺が共通な三角形の性質 平行線による等積変形 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の関係を論理的に考察し整理することができる。 		
	3	章末	章末問題、レポート(2)	<ul style="list-style-type: none"> 学びをたしかめよう 学びを身につけよう 学んだことをレポートにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線と面積の関係を理解している。 平行線と面積の関係をもち, 1つの図形を面積の等しい別の図形に変形することができる。 日常生活で四角形の性質を利用している場面を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 長方形, ひし形, 正方形, 平行四辺形の関係を論理的に考察し整理することができる。 平行線と面積の関係に着目して, 1つの図形を面積の等しい別の図形に変形す 		

2月	6章	節	項	学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法	
			1	1 確率の求め方(2)	・同様に確からしいことの意味と確率の求め方 ・簡単な場合について確率を求めること ・確率 p の値の範囲, および, $p=1$, $p=0$ の意味	・多数回の試行によって得られる確率と関連づけて, 場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。 ・樹形図や二次元の表などを利用して, 起こり得るすべての場合を求め, 同様に確からしいことをもとにして, いろいろな場合について確率を求めることができる。	・多数回の試行によって得られる確率と, 場合の数をもとにして得られる確率を比較し, その関係について考察し表現することができる。 ・同様に確からしいことに着目し, 場合の数をもとにして得られる確率の求め方について考察し表現することができる。	・場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を考えようとしている。 ・同様に確からしいことに着目し, 場合の数をもとにして得られる確率の求め方について考えたり, いろいろな場合について確率を求めたりしようとしている。	定期考査 提出物 レポート等
			2	2 いろいろな確率(4)	・樹形図, 表などを用いて, 起こりうる場合をれや重なりがないように整理すること ・いろいろな場合について確率を求めること ・確率を余事象の考えによって求めること	・問題を解決するために, 起こり得るすべての場合を求めたり, 確率を求めたりすることができる。	・確率について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。		
		3	3 確率の利用(1)	☆くじを引く場面で, さきにひくか, あとにひくかによるあたりやすさの違いを考える。	・問題を解決するために, 起こり得るすべての場合を求めたり, 確率を求めたりすることができる。	・確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。			
	2	章末問題、レポート(2)	学びをたしかめよう 学びを身につけよう 学んだことをレポートにまとめる						
	7章	節	項	学習項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法	
			1	1 箱ひげ図(4)	・箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味 ・四分位数や四分位範囲を求めたり, 箱ひげ図に表したりすること	・箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解している。 ・箱ひげ図をかいたり, 四分位範囲を求めたりすることができる。	・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り, 表現することができる。	・箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を考えようとしている。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用	定期考査 提出物 レポート等

3 月	げ 図 と デ ー タ の 活 用	げ 図	と ☆箱ひげ図からデータの傾向を読み取り、自分の考えをまとめて説明したり、他者の意見について批判的に考えたりする。	る。 ・箱ひげ図や四分位範囲などを利用して、問題を解決する方法について理解している。	る。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、見いだした結論や過程を批判的に考察し判断することができる。	いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、表現しようとしている。 ・箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用いた問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。	
		2	データを活用して、問題を解決しよう(2)				・箱ひげ図を読み取ること ☆20年ごとの7月の日最高気温を比較する場面で、それぞれの箱ひげ図から読み取れることを考える。 ☆箱ひげ図や四分位範囲からデータの傾向を読み取り、批判的に考察し判断する。
		2	章末問題、レポート(2)				学びをたしかめよう 学びを身につけよう 学んだことをレポートにまとめる